

# 令和4年度 森林Jクレジット活用実証事業 CN商品開発を誘発するJクレ商品-試験販売調査

2023年2月

東北経済産業局 CNPT

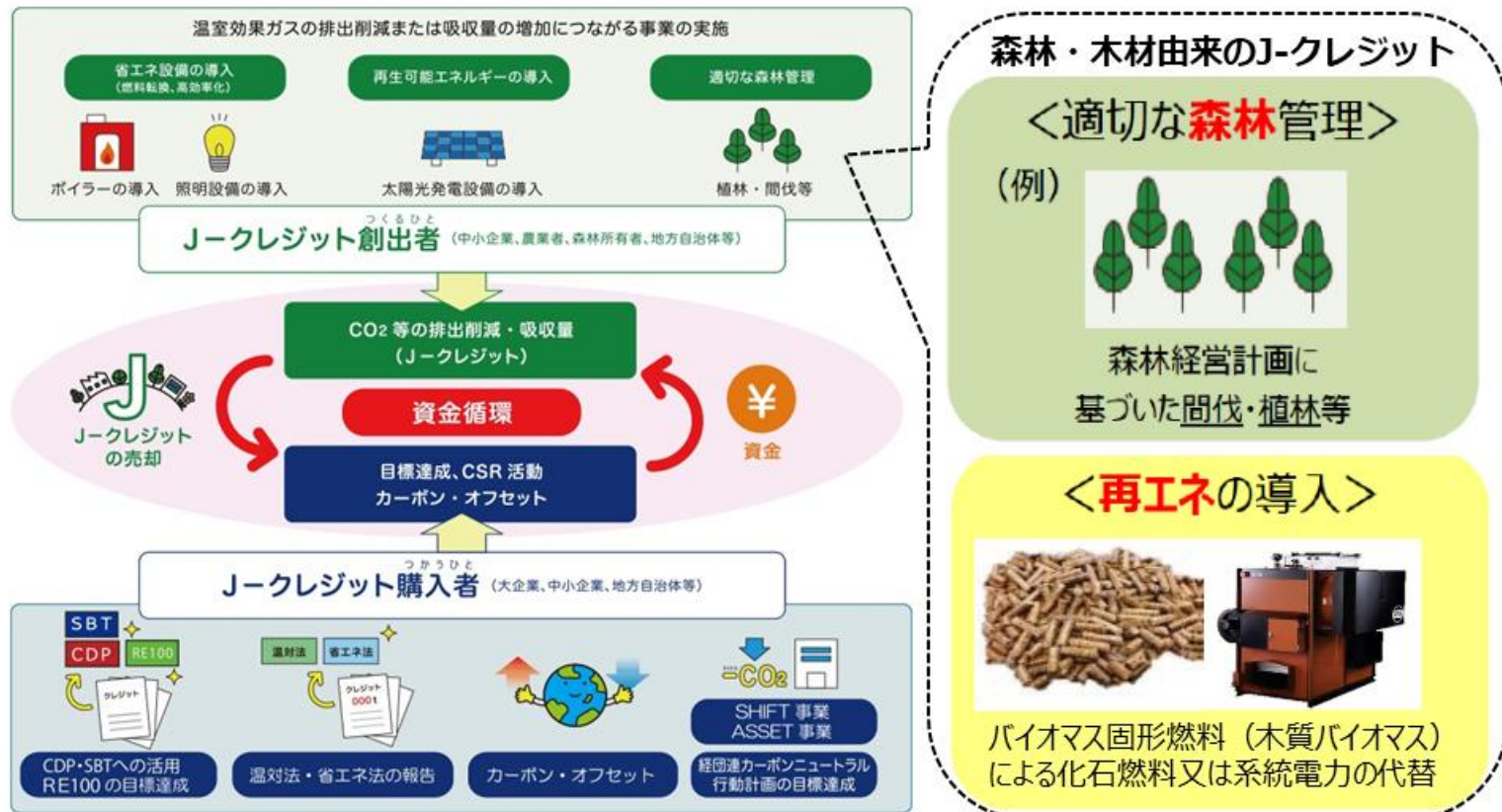
# 目 的

- J-クレジット制度は、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度であり、産業界等の省エネ・低炭素投資等を促進しカーボンニュートラルと経済を両立させる取組である。
- その中でも近年、縁のある地域の森林から創出されるクレジットの活用や活用することで森林保全の取組を支援することなど、企業価値を向上させるカーボンオフセットの有効な手段として吸収系クレジットである森林J-クレジット（以下「森林Jクレ」と言う。）が注目されている。
- 今回、地域の小売店舗等の協力のもと、商品販売における小売価格に森林Jクレ分を上乗せし、その上乗せ額を森林保全へ役立てることでカーボンオフセットする取組について、小売店における実販売を通じて消費者意識を調査するため、試験販売調査を行った。
- 今後、地域の最終商品を製造する事業者（食品加工等）、小売事業者の皆様にCN商品を開発・販売することによるカーボンオフセット手法について参考として頂くことを目的とするもの。

# 森林Jクレをカーボンオフセットに役立てる流れのイメージ

- 森林管理により吸収されたりしたCO2等の温室効果ガスの量を認証し、認証分の「クレジット」を発行する国の制度である。
- 二酸化炭素の排出の削減実績を「証券化」したものであり、事業者等にとってはクレジットを購入することで（実態以上に）二酸化炭素排出量の「削減をした実績」を得ることができる。

## ＜森林Jクレの創出と購入と削減効果に係る仕組み・流れ＞



# 今回の事業イメージ

- 本実証事業では、適切な森林管理により認証された森林Jクレを購入し、1 t-CO2分を「カーボン・オフセット」商品に付加し販売（寄付型オフセットの方式を採用※）。
- 森林Jクレを前提とした商品ラインナップを試行的に用意（価格帯を複数用意）。
- 片方はそのまま、もう片方には10円(ex)のクレジット(寄付分)を付加。
- 「カーボン・オフセット」に対する消費者行動を調査。

## 森林Jクレ商品と付いてない商品の比較販売調査

森林Jクレが付いてないもの



300円

森林Jクレ商品



300円 + 10円

森林Jクレが付いてないもの



1000~1500円

森林Jクレ商品

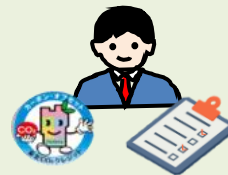


森林Jクレが付いてないもの



2000~3000円

森林Jクレ商品



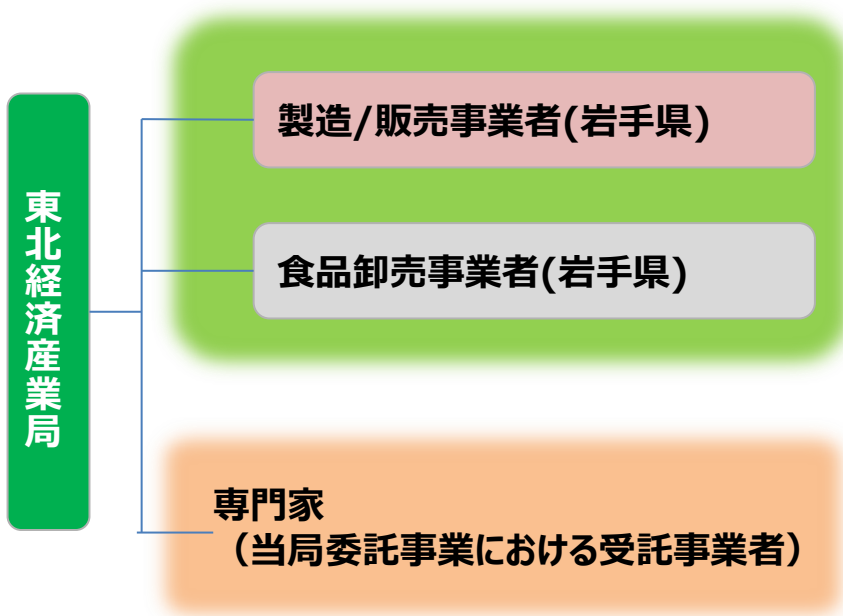
森林Jクレ(環境価値)の認知度や消費者評価をアンケートにて確認

※寄付型オフセット：製品を製造・販売する事業者やサービスを提供する事業者等が、消費者に対し、クレジットの活用による地球温暖化防止活動への貢献・資金提供等を目的として販売し、クレジットを購入・無効化する取組。

# 概要と体制

- 本実証事業では、森林Jクレを用いた商品開発及び森林Jクレを活用した森林保全やこれによるカーボンオフセットに係る相談のあった民間コンソーシアムに対し、専門家派遣及び当局ハンズオン支援チームの構築により、企画・実証を行ったもの。
  - 森林Jクレを前提とした商品ラインナップを試行的に用意（価格帯を複数用意）。
  - クレジットが付いているモノと付いていないモノを選択して購入いただけるようにし、「カーボン・オフセット」に対する消費者行動を調査。
  - クレジットの調達方法は、「相対取引」「入札販売」「売り出しクレジット一覧」の3種類のうち、売り出しクレジットから購入。
- ※購入価格は調達方法や購入先によって異なる（1万円～1.5万円/t-CO2）が、1 t 分を購入。

## 【実施体制】



実証場所：CAMOCY 発酵パーク「カモシー」  
(岩手県陸前高田市の複合商業施設)



実施小売店：  
ベーカリー Malo (マーロ)



実施小売店：  
(株)八木澤商店 カモシー店

全体調整・工程管理：  
(株)相庄



# 調査方法

- 「カーボン・オフセット」商品に対する消費者の許容性や企業への評価についてレポート調査。2023年2月19日に実施。
- 岩手県陸前高田市の複合施設「CAMOCY」（八木澤商店、MAaLoの2店舗）で実施。
- 価格帯は¥100～2,000を対象として設定。
- MAaLo（パン）は個包装ではないため、会計時に案内（店員によるアナウンス）。※ 何点購入しても同じクレジット額

## <八木澤商店>



or



奇跡の醬 150ml  
594円



or



蔵出し気仙味噌  
670円

## <MAaLo>



森林保全に貢献する「Jクレジット」として、5円の寄付を頂くと2kgのCO<sub>2</sub>削減できる取組を行っておりますが、ご協力頂けますでしょうか？ etc…



⇒ Jクレ(環境価値)の認知度や消費者の評価を確認

# 対象商品と森林Jクレ付与額



## <八木澤商店>

→以下の各商品に森林Jクレを5～10円付与したものの・してないものを選択して購入頂く。

蔵出し気仙沼味噌 500g **356円**

+5

生七味 **583円**

+10

奇跡の醬 **594円**

+10

蔵出し気仙味噌 カップ **670円**

+10

梅醬番茶 **972円**

+10

## <MAaLo>

→一会計毎（パンをいくつか取ったあと支払時）に、森林Jクレを10円付与するか・しないを選択して頂く。

パン各種 1個 **200～600円** 前後

+10



5円 と 10円 の森林Jクレを各商品に上乘せ

# 企画～協議～調査の様子



局内における企画会議の様子



実証事業前の打合せの様子



実証事業当日の商品陳列の様子



実証事業当日の商品陳列の様子



アンケートの様子



# 実証結果

## <八木澤商店>

→以下の各商品に森林Jクレを5～10円付与したもの・してないものを選択して購入頂いた。

→**カーボンオフセット商品の販売数** / 対象商品の全販売数。

→森林Jクレが付与された商品の売れた個数は、対象商品が売れた数20品中15品だった。

蔵出し気仙沼味噌 500g	356円	+5	5 / 8
生七味	583円	+10	4 / 4
奇跡の醬	594円	+10	3 / 4
蔵出し気仙味噌 カップ	670円	+10	3 / 4
梅醬番茶	972円	+10	0 / 0

(カーボンオフセット商品販売数 / 全販売数)

**75%の方が賛同。**

※75%の対象商品購入者が、森林Jクレが付与された方を選択した。

## <MAaLo>

→支払時に、森林Jクレを10円付与するか・しないを選択して購入頂いた。

パンの購入者数 **110名のうち67名**が森林Jクレの付与を選択した。

**60.9%の方が賛同。**

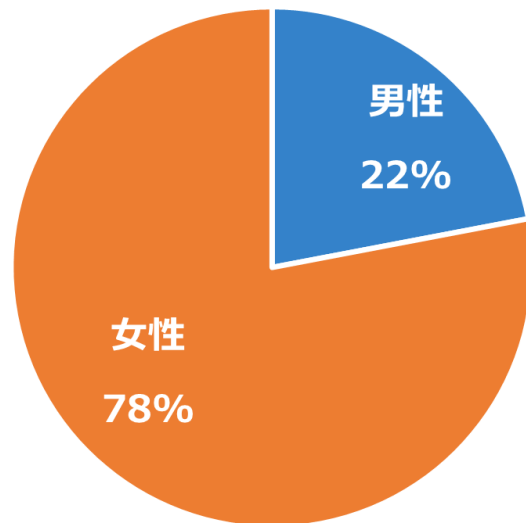
# アンケート結果①

アンケートの条件は次のとおり。

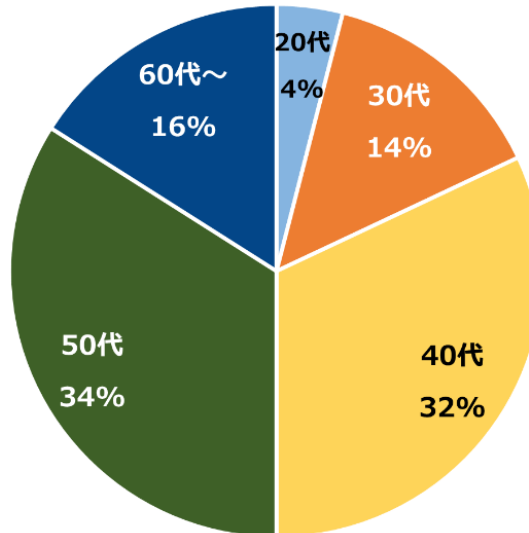
- アンケートは、複合施設「カモシー」に来訪した方に任意で実施。よって、購入した・しないに関わらずアンケートを取った。
- アンケートは49名に回答頂いた。
- アンケートは対面型で調査員が口頭で説明しながらアンケート用紙に回答。

## <属性>

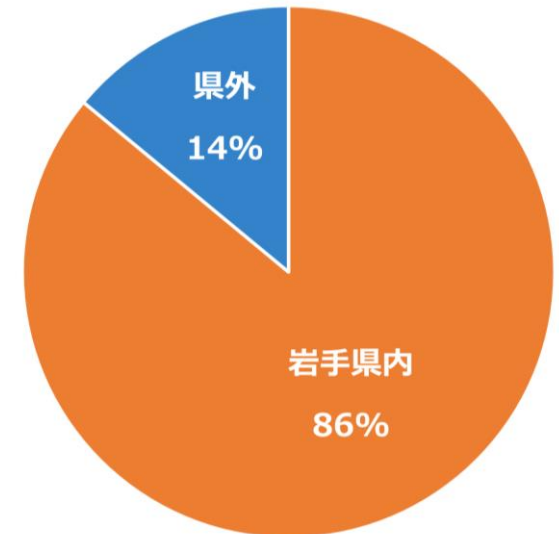
問：性別



問：年齢



問：出身地

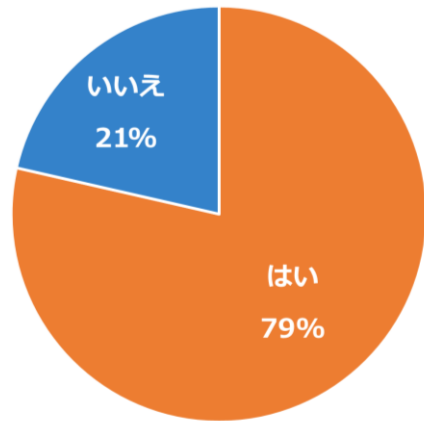


# アンケート結果②

## <購入者> 41名

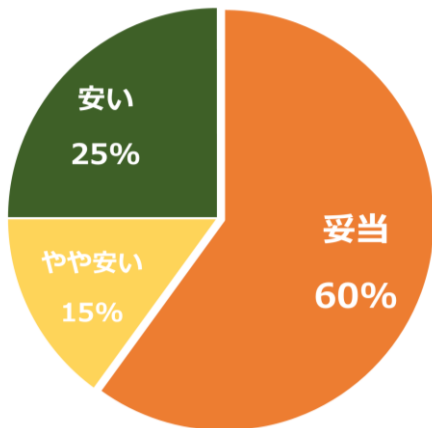
問：地元の森林保全につながらない場合であっても、商品の購入を検討しましたか？

※今回のケースで言えば、「岩手県産の商品に他県の森林Jクレジットを付与しても購入したか？」という質問。



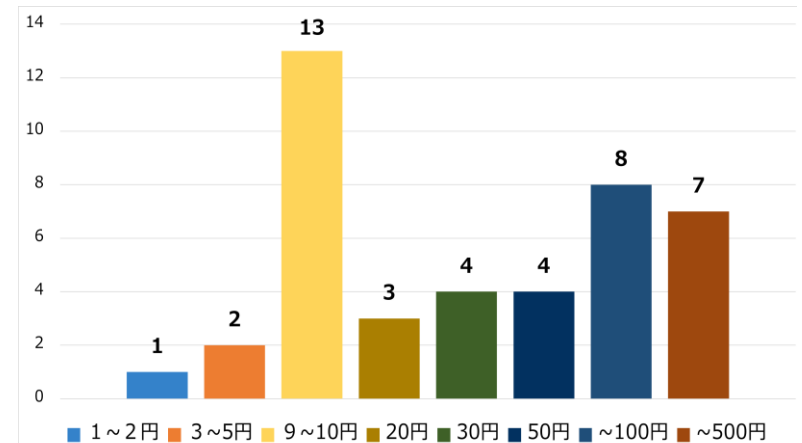
- ✓ 実証前の想定としては、生産・購入・消費等いずれかのプロセスで地元（出身・居住地）が関わり、「カーボンオフセット商品」の購入を介して地元へ貢献する、というような**ストーリー性**が無ければ、「カーボンオフセット（森林Jクレ）」の受容性は低まると考えていたところ。
- ✓ しかし、アンケートの結果では、購入者の**約8割が「地元還元（由来）でなくとも協力する」との回答**であった。

問。「カーボン・オフセット商品」を「高い」と感じましたか？



「何円程度までのクレジット額なら許容か？」という問いに対しては以下グラフの結果に。

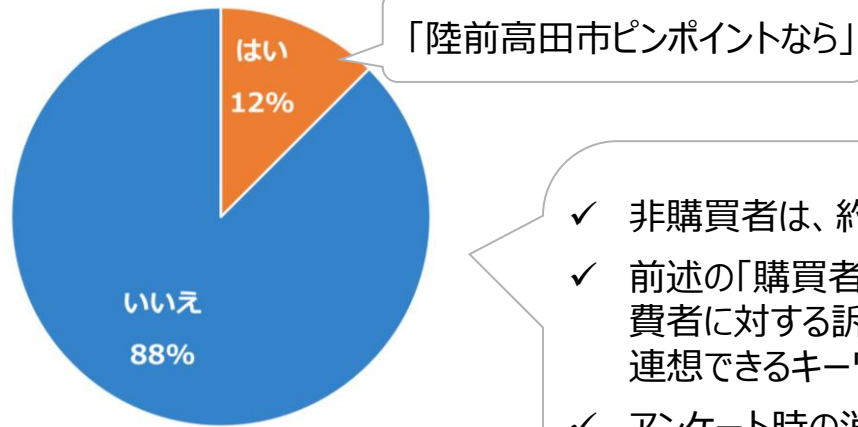
アンケート時の消費者の声として、「**10円程度であれば日々の買い物でも協力できる。**」「**毎日は難しいが、単発であれば500円でも構わない**」



# アンケート結果③

## <非購入者> 8名

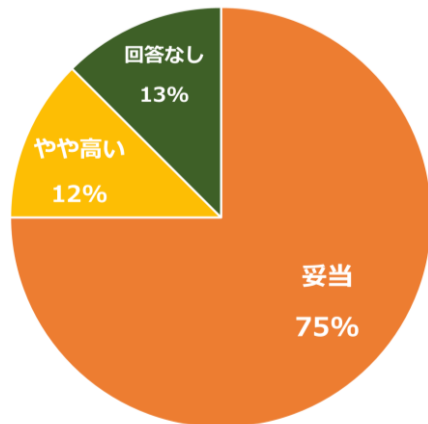
問.地元の森林保全につながるのであれば、商品の購入を検討しましたか？



「陸前高田市ピンポイントなら」

- ✓ 非購買者は、約9割が地元か否かに関わらず「購入しない」という回答となっている。
- ✓ 前述の「購買者」においても、地元か否かに関わらず「購入する」との回答であり、消費者に対する訴求においては、「地元」「地域」よりも、「環境」「森林」と言った直接連想できるキーワードの方が訴求するのも知れない。
- ✓ アンケート時の消費者の声として、「気付かなかった」という理由で商品を購入しなかった方が過半数であり、その他の理由としては「関心が無い」という回答を得られた。認識率・アイキャッチと言った面も工夫の余地がある。

問.「カーボン・オフセット商品」を「高い」と感じましたか？



- ✓ 森林Jクレの付与により価格が高くなったことについては、非購買者においても「価格は妥当」との回答が75%あることから許容されていると思われる。
- ✓ つまり、価格よりに関わらず「賛同を得ることが出来なかった」ということと思われる。

## 企画チーム（2023年2月(当時)）

経済産業省東北経済産業局

### ◆資源エネルギー環境部

資源エネルギー環境課 佐々木果南（取り纏め）

エネルギー対策課 丁子カレン

エネルギー対策課 佐々木力

### ◆地 域 経 済 部

地域経済課 揚妻勇大

### ◆産 業 部

産業振興課 佐藤翼空